

第19回日本認知療法・認知行動療法学会
一般演題セッション編成（演題番号入り）

<口演>

| カテゴリー | 座長 | 演題番号 | 登録番号 | 筆頭著者の姓名 | 演題名 | 筆頭著者の所属機関名 |
|-----------------|------|------|-------|---------|---|-------------------------------|
| 1. 精神疾患・発達障害 | 丹野義彦 | 01-1 | 10011 | 中島 美鈴 | 成人期注意欠如・多動症の集団認知行動療法の効果に影響する要因 | 九州大学大学院人間環境学府 |
| | | 01-2 | 10012 | 羽鳥 乃路 | 成人期後期に精神病症状を体験した人との心理面接～協同作業への招待とプロトコルのカスタマイズについて～ | 精神医学研究所附属東京武蔵野病院 |
| | | 01-3 | 10076 | 中嶋 愛一郎 | 音声チェックが主症状のトゥレット症候群の40代女性に認知行動療法を試みた一例 | 国立精神・神経医療研究センター病院 |
| 2. 産業・司法・アセスメント | 田島美幸 | 02-1 | 10050 | 石橋 佐枝子 | 超簡易型認知行動療法を活用した中小企業における一次予防の効果～自由記載内容の質的分析～ | 敦賀市立看護大学 |
| | | 02-2 | 10064 | 石川 国広 | 体験学習サイクルの内在化を意図した「オリジナル・リフレクションシート（RFS-ELC）」の開発と活用事例および今後の展望 | 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院／環境・社会理工学院 |
| | | 02-3 | 10083 | 太田 真貴 | 認知行動論的に問題行動を振り返ることで自己理解を深めた統合失調症患者の事例報告～医療観察法病棟での関わり～ | 国立病院機構 鳥取医療センター |
| 3. 不安障害・身体疾患 | 堀越勝 | 03-1 | 10024 | 榎本 聖香 | 過活動の慢性痛患者への認知行動療法：入院治療における多職種連携の一事例 | 大阪大学大学院人間科学研究科 |
| | | 03-2 | 10052 | 小林 由季 | 強迫性障害に対する認知行動療法と家族介入併用プログラムの実施可能性と有効性の検討 | 国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター |
| | | 03-3 | 10063 | 田中 康子 | 社交不安症のブリーフ認知行動療法：スマホを用いて | 南藤沢クリニック |
| | | 03-4 | 10069 | 富永 敏行 | Somatic Symptom Disorder - B Criteria Scale (SSD-12)日本語版の信頼性および妥当性の研究：第一報 | 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 |
| 4. 治療・介入技法 | 北川信樹 | 04-1 | 10021 | 片柳 章子 | 認知処理療法中に再度性被害に遭ったPTSD患者の事例報告 | 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター |
| | | 04-2 | 10048 | 崔 震浩 | 電気けいれん療法が奏効しなかったうつ病再発患者に認知行動療法が奏効した1症例 | 上毛病院精神科 |
| | | 04-3 | 10074 | 竹本 千彰 | 弁証法的行動療法の理論モデルを踏まえた概念化の機能 ～感情体験回避と自己否定の強い症例を通じた検討～ | 有馬病院 |
| | | 04-4 | 10077 | 橋本 麻里子 | 統合失調症の思考障害による感情負荷へのマインドフルネスの適用可能性～一般就労継続が困難であった症例を通しての検討～ | 有馬病院 |
| 5. 学校・児童・教育研修 | 小林由季 | 05-1 | 10009 | 伊與田 万実 | 児童における注意制御機能が慢性疲労症状の認知的脆弱要因に及ぼす影響 | 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部 |
| | | 05-2 | 10030 | 中島 美鈴 | 集団認知行動療法治療者評価尺度のADHD症例における妥当性・信頼性の検討 | 九州大学大学院人間環境学府 |
| | | 05-3 | 10057 | 一本木 之人 | 多職種連携にあたり一薬剤師が経験した自動思考と、認知行動療法の学習による克服の試み | 洛西シミズ病院薬剤部 |
| | | 05-4 | 10079 | 南谷 則子 | 認知行動療法に基づく不登校の親支援グループワークプログラムでの一事例-親役割としてのアサーションを通して | 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター |
| 6. 看護・リハビリテーション | 松田優二 | 06-1 | 10007 | 濱野 幸和 | 看護援助過程における統合失調症者に対するスティグマへの対処 | 水海道厚生病院 |
| | | 06-2 | 10023 | 高木 遥 | 生活史の振り返りにより思考が変化した事例 | 柳原リハビリテーション病院 |
| | | 06-3 | 10028 | 平山 佳亜 | 片頭痛患者が薬剤の使用過多に至る過程 | 成増厚生病院 |
| | | 06-4 | 10056 | 木村 由美子 | 当院ストレスケア病棟看護師による個別PSTの取り組み | 草津病院 |

<ポスター>

| カテゴリー | 講演時間 | 演題番号 | 登録番号 | 筆頭著者の姓名 | 演題名 | 筆頭著者の所属機関名 |
|---------------|-----------|------|-------|---------|---|----------------------------|
| 不安障害 | 8月30日17時～ | P1 | 10004 | 福井 義一 | パニック傾向に対する不安感受性と脱中心化の交互作用効果—不安感受性の下位因子を用いた再検討— | 甲南大学 |
| | 8月31日11時～ | P2 | 10026 | 泉水 紀彦 | 大学生の社交不安に対する解釈バイアス修正法（CBM-I）の効果の検討 | 埼玉学園大学人間学部心理学科 |
| | 8月30日17時～ | P3 | 10061 | 奥田 朋子 | 自習ワークブックを用いた認知行動療法の一事例 | 千葉県済生会習志野病院 |
| | 8月31日11時～ | P4 | 10080 | 久保田 有紀 | 外出することに苦痛を呈する女性の面接過程 | 青空精神科心療内科 |
| 発達障害・知的障害 | 8月30日17時～ | P5 | 10022 | 村上 元 | ASD傾向を有するデイケア利用者に対するSCITの有用性の検討 | 日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科 |
| | 8月31日11時～ | P6 | 10060 | 牧野 加寿美 | リワークデイケアにおける成人期ADHD患者の時間処理障害に対する集団認知行動療法 | 医療法人会 かなめクリニック |
| | 8月30日17時～ | P7 | 10078 | 水野 雅之 | 発達障害に関するメンタルヘルスリテラシーが大学における特別な配慮への許容度に及ぼす影響 | 東京家政大学子ども学部子ども支援学科 |
| 気分障害 | 8月31日11時～ | P8 | 10020 | 池田 寛人 | 心配に関するネガティブな信念が操作によって生じる心配に与える影響 | 早稲田大学大学院人間科学研究科 |
| | 8月30日17時～ | P9 | 10025 | 木村 あやの | 認知行動療法後の社会機能の改善：E-CAM研究2次解析 | 慶應義塾大学医学部 |
| | 8月31日11時～ | P10 | 10042 | 金井 七星 | アレキシサイミアと月経不調気分症およびセルフ・コンパッションとの関連 | 名古屋学芸大学大学院子どもケア研究科 |
| | 8月30日17時～ | P11 | 10043 | 大島 理恵子 | 睡眠習慣の安定性が月経前不快気分症およびその関連症状に及ぼす影響 | 名古屋学芸大学大学院子どもケア研究科 |
| | 8月31日11時～ | P12 | 10065 | 満田 大 | うつ病に対する認知行動療法における効果発現時期の予測因子の検討—治療中間時点におけるうつ評価尺度からの検討— | 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 |
| | 8月30日17時～ | P13 | 10067 | 村田 倫一 | 慢性うつ病患者の早期不適応的スキーマおよび、スキーマモードの特徴の検討 | 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター |
| | 8月31日11時～ | P14 | 10070 | 倉田 知佳 | うつ病に対する認知行動療法における否定的認知の改善が長期経過に与える影響 | 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 |
| | 8月30日17時～ | P15 | 10071 | 浅野 憲一 | 難治性うつ病に対するCompassionate Mind Trainingのパイロットランダム化比較試験 | 目白大学 心理カウンセリング学科 |
| パーソナリティ障害 | 8月31日11時～ | P16 | 10038 | 寺島 瞳 | 女子大学生における早期不適応的スキーマとBPD症状との関連の検討 | 和洋女子大学人文学部心理学科 |
| 認知理論 | 8月30日17時～ | P17 | 10032 | 西尾 悠佑 | ポジティブ感情に対する認知的反応の違いがその後の感情の変化に及ぼす影響 | 瀬田川病院 |
| | 8月31日11時～ | P18 | 10062 | 高田 真吾 | スキーマに注目した心理的介入に対する意思決定に関する研究 | 大阪大学大学院人間科学研究科 |
| 身体疾患 | 8月30日17時～ | P19 | 10017 | 田中 智里 | 慢性痛への学際的治療としてのマインドフルネス認知療法の有用性に関する前後比較試験 | 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 |
| | 8月31日11時～ | P20 | 10027 | 平子 雪乃 | 身体科外来における認知行動療法の実施形態に関する検討～マニュアル・ベースとフォーミュラ・ベースの比較から～ | 明治学院大学心理学部 |
| | 8月30日17時～ | P21 | 10072 | 廣瀬 素久 | 慢性疼痛のためのビデオ会議システムを用いた遠隔認知行動療法の効果に関するランダム化比較試験：研究プロトコル | 千葉大学大学院医学研究科認知行動生理学 |
| 治療・介入技法 | 8月31日11時～ | P22 | 10005 | 加藤 健徳 | 反芻焦点化認知行動療法（RF-CBT）が有効であった1症例：回避に注目して | 桜ヶ丘記念病院 |
| | 8月30日17時～ | P23 | 10008 | 陳内 彩音 | 閉塞性睡眠時無呼吸患者の肥満に対する集団認知行動療法の長期予後の検討 | ウェルネス望洋台医院小樽睡眠クリニック |
| | 8月31日11時～ | P24 | 10033 | 寺本 航起 | 対人関係カウンセリングの大学生のコーピングスタイルへの効果 | 関西学院大学大学院文学研究科総合心理学専攻心理学領域 |
| | 8月30日17時～ | P25 | 10034 | 永田 忍 | 千葉IAPT研修生による強迫性障害の集団認知行動療法 | 就実大学教育学部教育心理学科 |
| | 8月31日11時～ | P26 | 10039 | 川上 卓朗 | 大学生における対人関係カウンセリングの抑うつ状態に対する長期的効果 | 関西学院大学大学院文学研究科総合心理学専攻心理学領域 |
| | 8月30日17時～ | P27 | 10055 | 山本 晴美 | 認知行動療法と動機づけ面接の併用に関する系統的レビュー | 国立精神・神経医療研究センター |
| | 8月31日11時～ | P28 | 10066 | 佐々木 洋平 | 慢性痛に対する短時間認知行動療法の試み：自閉症スペクトラム障害と注意欠陥障害を併存する持続性身体表現性疼痛性障害の1例 | 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター |
| 児童・思春期 | 8月30日17時～ | P29 | 10019 | 石田 実知子 | 高校生の認知の偏りが怒りを通して自他への暴力に与える影響 | 川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科 |
| | 8月31日11時～ | P30 | 10040 | 鈴木 茜 | 児童におけるマインドセットと完全主義および抑うつ傾向との関連 | 名古屋学芸大学大学院 |
| 成年期 | 8月30日17時～ | P31 | 10035 | 片岡 春奈 | 完全主義的自己提示尺度（PSPS）日本語版の開発 その2 —併存的妥当性の検討— | なし |
| 産業・ストレスマネジメント | 8月31日11時～ | P32 | 10059 | 田中 慎太郎 | 一般企業におけるPresenteeismと肥満・心理的ストレスの関係 | 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 |
| | 8月30日17時～ | P33 | 10082 | 今北 哲平 | 抑うつの行動理論は、介護職のバーンアウト症状に適用可能か？——構造方程式モデリングによる検討—— | 鳥取生協病院 |

第19回日本認知療法・認知行動療法学会
一般演題セッション編成（演題番号入り）

| カテゴリー | 講演時間 | 演題番号 | 登録番号 | 筆頭著者の姓名 | 演題名 | 筆頭著者の所属機関名 |
|-----------|-----------|------|-------|---------|---|---------------------------|
| 健康増進・予防医学 | 8月31日11時～ | P34 | 10000 | 小澤 英里子 | インターネット依存傾向者の行動変容（1）——動機づけのサブタイプと援助要請態度との関連—— | 明治学院大学大学院心理学研究科 |
| | 8月30日17時～ | P35 | 10001 | 森本 浩志 | インターネット依存傾向者の行動変容（2）——動機づけの程度を考慮した心理教育の援助要請態度への効果—— | 明治学院大学心理学部心理学科 |
| | 8月31日11時～ | P36 | 10010 | 中嶋 美珠貴 | 青年期の心的外傷後成長が心身の健康に与える影響 自己知覚されたPTGにおけるヤヌスの顔モデルの検討 | 明治学院大学大学院心理学研究科 |
| | 8月30日17時～ | P37 | 10036 | 東海林 渉 | 情報通信技術（ICT）を用いた認知行動的アプローチによる地域住民の健康増進支援プログラムの実施可能性の検討 | 東北大学 大学院医学系研究科 予防精神医学寄附講座 |
| | 8月31日11時～ | P38 | 10051 | 下満 由貴 | 青年期における困難克服過程で受けた支えに対する感謝に焦点付けられた認知が時間的展望に及ぼす影響 | 福岡県立大学大学院人間社会学研究科心理臨床専攻 |
| | 8月30日17時～ | P39 | 10054 | 舩松 克代 | 親子コミュニケーション支援のためSSTプログラムの開発及び効果研究 | 東海大学健康学部 |
| 教育・研修 | 8月31日11時～ | P40 | 10053 | 宮崎 理恵 | 子どもたちが安定した毎日を送るために、学校で実践する認知行動療法 | 北九州市立三郎丸小学校 |
| | 8月30日17時～ | P41 | 10075 | 前田 初代 | 薬局薬剤師向け「認知行動療法的アプローチ（CBT-A）を用いた服薬支援研修（入門編）」の他の医療職種への応用の可能性の検証 | CBT-A服薬支援研究会 |
| 看護 | 8月31日11時～ | P42 | 10006 | 加藤 沙弥佳 | 看護師による抑うつ症状を有する入院患者を対象とした短期行動活性化療法の実現可能性の検討-試験的調査- | 宮崎大学医学部医療人育成支援センター |
| | 8月30日17時～ | P43 | 10018 | 佐藤 義崇 | 看護師が認知行動療法を行うはじめの一步 | 沼津中央病院 |
| | 8月31日11時～ | P44 | 10031 | 長井 麻希江 | 不眠を対象とした看護師による短時間認知行動療法の評価：パイロットスタディ | 敦賀市立看護大学 |
| | 8月30日17時～ | P45 | 10068 | 加藤 宏公 | 精神看護領域におけるアクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）を用いた介入研究の文献レビュー | 愛知県立大学看護学部 |
| | 8月31日11時～ | P46 | 10073 | 原子 教子 | 認知行動療法の実践が精神科看護師に及ぼす影響 | 弘前大学大学院保健学研究科 |
| リハビリテーション | 8月30日17時～ | P47 | 10046 | 淡路 瑛子 | リワークプログラムの参加により不注意・衝動性が一時的に顕著になった50代男性の一事例 | 多摩国分寺こころのクリニック たまこくデイケア |
| | 8月31日11時～ | P48 | 10058 | 許山 勝弘 | 運動器疾患の入院患者における精神疾患の既往歴の有無による心理状態の調査 | 福岡リハビリテーション病院 |
| その他の精神疾患 | 8月30日17時～ | P49 | 10049 | 後藤 麻友 | 抜毛行動様式と前頭前野機能との関連-注意制御課題時における脳血流変化量の評価を通して- | 三重県立稲生高等学校 |
| その他の学校臨床 | 8月31日11時～ | P50 | 10016 | 松本 智子 | 「子どものスキーマアンケート」作成のための予備的検討 | 佐世保市子ども発達センター |
| | 8月30日17時～ | P51 | 10041 | 中野 有美 | こころのスキルアップ教育は中学一年生の学校適応を促進するか | 南山大学人文学部心理人間学科 |